

＊20回目金ヶ崎夜間学校

2/12 夜マサより「喜望の家」(蔵にて)
「アーマ」「金ヶ崎の歴史」

足もとをみつめあすために

今まで夜間学校では、労働と病気を二本柱としてテーマを組んできました。これは、金ヶ崎に住み、日雇をしていようと日常的にぶつかる問題が労働と病気に起ることである以上、ともに話し合い・自分達で解決していく力を持つべきだと考へておるからです。そしてこの二つは、金ヶ崎日雇労働者にとって切り離せない問題であり、したがって、この二本柱は今後とも変わることはないと想ります。

歴史をしる意味

しかし、日常生活を考える時、その背景となるている歴史もと

うえにおす必要があるのでは、といふことでは、「金ヶ崎の歴史(エコ)」をテーマにしました。するやうち、金ヶ崎がなぜ今のような日雇労働者の街になったのか、昔はどうだったのか、「人夫出し」として話しあったが、昔の様子や、座り方など出来ごとにについて話して欲しいと思ひます。昔のことなどあまり知らない人は、それを見てきたのか、「人夫出し」を聞くなかなか、もう一度現在をみつめなおしていけたらと思ひます。多くの参加を呼びかけます。

なお、「金ヶ崎の歴史」はこれからもシリーズで続けていくつもりです。

など、このせまに金ヶ崎をみてみても東にさきまな歴史があり、そのひとつひとつが今の私たちにも残してゆかりのな

スライドを見ながら

一一一ではありません。

□□□

2月12日 (木) 「金ヶ崎の歴史」

2月19日 (木) 「越冬と病気(3)」
2月26日 (木) 「労働について」

今月の予定

(仮縦) 空き山奇夜間学校ニュース

第19回 報告テーマ「条件違反・賃金未払いに対する対策」

2/15

わしらがしつかりやるんや

労働者の自覚と自立

に丸くりかえる気持

の発言参考。参加したひとりの労働者曰く、「四五年万博の時に金へ来て仕事しているが、内心はにえくりがえる気持ちでいっぱいだ。ぐりになるからあんまり口には出さん。暴行、条件違反、賃金未払いなど、数多くの被害を受けた。私は、相手をみて仕事をさせる。おとなしい人ほど悪い凸といつたりして、他の労働者のみせしめにされると云ふのが悪い。もつとのびのびとわらしらに仕事をやらせてくれると、能率はよう上がる

はずや。人使いが悪いわ。時にはわざとトンコさせるように、いや労働者を食いものにするのもいいなことをしむけたりする。わしら、かげんにしてやと言いたい。かげんへ西日本労働福祉センターは、セニターは、条件違反、賃金未払いなどの申立てで違反、賃金未払いなど、不払いなどの申立てで解決した賃金の総額は一五、四八六八千円位でセンターは報告しています。業者の悪どさがこれです。

セントラルよしりかりせ

はすや。人使いが悪いわ。時にはわざとトンコさせるように、いや労働者を食いものにするのもいいなことをしむけたりする。わしら、かげんにしてやと言いたい。かげんへ西日本労働福祉センターは、セニターは、条件違反、賃金未払いなど、不払いなどの申立てで解決した賃金の総額は一五、四八六八千円位でセンターは報告しています。業者の悪どさがこれです。

みんながつくるみんなのひろば

「みんながつくるみんなのひろば」という自覚と自立の姿勢もつけていく必要があるのです。

見い出すことが大切です。まずは、北へ西成区萩の茶屋二一八一八電話 06-6471-3946(毎週木曜日夜七時~九時の間に)西成区萩の茶屋二一八一八運営本員会準備会金ヶ崎・喜望の家内に出て来んやつがじつあるはず

